

フロンティアスクール中間報告書

都道府県名	新潟県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	村松町立愛宕中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	1	10	21
生徒数	91	113	110	1	315	

研究の概要

1. 研究主題

「生徒の意欲的な学びを育む」指導のあり方

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

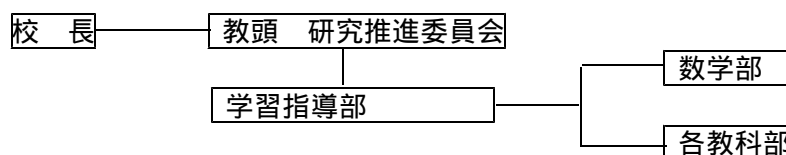
・ 1・2・3年生・数学
 生徒の理解の状況に差が出やすい教科、学年であり、少人数指導を実施しているため。学力検査の結果などから、学習内容の定着が不十分であり、改善が必要と考えられるため。研究連携校の村松小学校が算数の研究を中心に推進しており、教科指導における小中の連携を図ることができるため。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 「生徒の意欲的な学びを育む」指導のあり方</p> <p>研究の見通し 生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を充実させることや、理解や習熟の程度に応じた指導を図ることで「意欲的な学び」が育まれ、確かな学力の向上につながるものとなる。また、学習指導要領に示された基礎・基本の確実な定着を図るために、生徒一人一人の習熟の程度に応じた指導を継続的に実施していくこととする。</p> <p>研究の内容・方法 (1) 習熟度別編成による少人数指導を実施することで、きめ細かな指導を充実させ、学力の向上を図る。 ・ 数学科では、2・3年生の授業において、習熟度別に3コースに分けて授業を行い、個に応じた指導や授業改善についての実践を行う。また、指導計画の改善、コースに応じた教材の開発を行う。 (2) 基礎・基本の定着を図るための指導方法や指導体制を工夫する。 ・ 県中教研で実施する学力調査の結果を分析し、実態把握を行い、授業改善の参考に する。 ・ 年間8回実施する校内テストの結果を積み重ね、実態の分析を行う。 ・ 学習アンケートを学期末に実施し、生徒の学習に対する情意面における実態を把握する。 ・ 地域・保護者による外部評価、生徒による授業評価の活用を行う。 (3) 選択教科で多様なコースを設定し、補充・発展学習を充実させる。 ・ 2年生は週2時間、3年生は週4時間を設定し、学習内容の確実な定着を図るための補足的な学習と、個性の伸長を図るための発展的な学習を行えるようにコースを設定する。</p>
--------	--

平成 16 年 度	<p>テーマ「生徒の意欲的な学びを育む」指導のあり方</p> <p>研究の見通し 生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を充実させ、理解や習熟の程度に応じた指導を実践するなど、平成15年度の研究を継続して行い、学力の向上を図る。また、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、より確かな理解を図るために、生徒一人一人の習熟の程度に応じた指導を継続的に実施していくこととする。</p> <p>研究の内容・方法 (1) 習熟度別編成による少人数指導を実施することで、きめ細かな指導を充実させ、学力の向上を図る。 ・ 数学科では、1・3年生の授業において、習熟度別に少人数コースに分けて授業を行い、個に応じた指導や授業改善についての実践を行う。 ・ 基礎・基本の確実な定着とともに、発展的な内容についても実践を行い、コースに応じた教材の開発を行う。 (2) 基礎・基本の定着を図るための指導方法や指導体制を工夫する。 ・ 県で実施する学力調査の結果を分析し、実態把握を行い、授業改善の資料にする。 ・ 年間8回実施する校内テストの結果を積み重ね、実態の分析を行う。 ・ 学習アンケートを学期末に実施し、生徒の学習に対する情意面における実態を把握する。 ・ 小中の連携による学力向上に関わる指導体制を工夫する。</p>
--------------------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

- ・ 授業を好意的に受け止める生徒の増加
授業がわかると答えている生徒が約60%で、全国調査の結果（国立教育政策研究所による調査）の数値（約50%）より高くなっている。
- ・ 保護者の満足度の向上
保護者が、当校の学習に対する取組や指導に満足している割合が約90%となっている。

当校の研究テーマである「意欲的な学びを育む」という点では、ほぼ目標を達せられていると考えられる。意欲の高まりにより、学力が向上するということを見込んでおり、年度末に行なわれるCRT標準学力検査や、来年度行われる学力テストの結果をもとに、学力面での分析も行っていく予定である。

2. 今後の課題

- 少人数指導を継続し、教材の開発や指導法の工夫を行う。
- 小中連携を図り、学力向上の方策を検討する。
- 発展学習に工夫を加え、高い学力レベルの生徒への対応を進める。

学力把握のための学校としての取組

- ・新潟県中学校教育研究会学習指導改善調査
前年度の学習内容の定着の度合いを調査するために、国語、数学、英語の3教科について5月に実施する。観点別、ABC学力別に結果を分析し、県内の結果と当校の結果を比較しながら、実態を明らかにする。
- ・教研式標準学力検査(CRT)
学習内容の定着の度合いを調査するために、国語、数学、英語の3教科について2月に実施する。全国のデータと比較しながら、当校の学力実態を明らかにする。
- ・学習アンケート
学習に対する情意的な面を調査するために、各学期末にアンケートを実施する。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・研究会、説明会の開催
 - 第1回地域協議会
 - 日時 平成15年6月27日(金) 14:30~16:30
 - 会場 村松町立村松小学校
 - 対象 新津・五泉地域内教育委員会教育長、指導主事、小中学校長
フロンティアスクールの学校評議員
 - 目的 県学力向上フロンティア事業計画についての説明
学力向上フロンティアスクールにおける研究概要の説明
 - 1年次中間発表会
 - 日時 平成15年11月21日(金) 13:40~16:30
 - 会場 村松町立愛宕中学校
 - 対象 新津・五泉地域内小中学校
 - 目的 フロンティアスクールとしての実践発表
 - 第2回地域協議会
 - 日時 平成16年2月23日(月) 14:30~16:30
 - 会場 村松町立愛宕中学校
 - 対象 新津・五泉地域内教育委員会教育長、指導主事、小中学校長
フロンティアスクールの学校評議員
 - 目的 今年度の研究の成果についての報告
研究連携校における実践の発表

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 その他
- 【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無